

おおみかアートプロジェクト 2023 ピザ窯大煙突プロジェクト

「煙突を囲んでつくるコミュニティ」の形成

日立のシンボルであり、地域の方々に愛されている「大煙突」がモチーフの大型作品。

本年度はおおみかアートプロジェクトのメンバーと、地域の方々と一緒に「ピザ窯大煙突」を制作します。

大煙突は窯としての機能を兼ね備えており、調理を行うと大煙突から煙が立ちます。

おおみか町～日立市を中心とした地域で、大煙突は移動を繰り返し、様々な場所に出現します。

開催期間を決めて行うイベントではなく、食×ものづくり×アートの長期プロジェクトのはじまりです。

②ピザ窯

鉄とレンガを組み合わせたピザ窯を地域の職人と関わりながら制作。fakalo pizza galleryの店長監修の元、オリジナルのピザ窯を制作する。



fakalo pizza gallery

④ピザづくり

おおみか町には複数の海岸があり、特に「久慈浜」は海水浴場と漁港がある。

昨年の芸術祭では、漁港の船長協力のもと、漁船に絵を描く作品を発表した。

今年度も久慈漁港の方々にご協力をいただきながら、おおみかの隠れ名物である「しらうお」を用いたピザづくりを考案。



しらうおピザの例



久慈漁港

①大煙突

「日立の大煙突」モチーフの大型作品。日立鉱山の煙害対策として山の上に建設された高さ150mの大煙突。日立市の住民にとってはシンボルであり、地域のエネルギーの1つであった。本作では高さ8～10m程度を想定。移動できるように、解体と組み立てが可能。



日立大煙突

③蒸気機関(熱エネルギーを取り出す)

ピザ窯のエネルギーを「回転」として取り出す。

地域の職人と関わりながら、製造の原点である回転を元にピザを食べるのに必要な道具を蒸気機関で作る。

木工旋盤の用途：木製の皿

砥石の装着：刃物を研ぐ

ハンマーの装着：スプーンやフォークなど



木工旋盤



砥石



ハンマー

